

# 中国留学レポート

国際文化学科

21017088 遠間あかり

中国留学を終えて約1か月が経とうとしていますが、日本に帰ってきてから中国で過ごした約4か月間の生活が恋しくなる時が多々あります。中国に留学して1か月経った頃は日本に帰りたいと思っていたのにこのように気持ちが変わったのはきっととても充実した留学生活を送ることができたからだと思います。これから留学生活がどのようなものだったのかをここに記します。

まずは授業についてです。授業はもちろん中国語で行われるので最初は何も聞き取れず話せない状況が続きかなり焦ったことを覚えています。しかし毎日予習復習を欠かさずにやっているうちに少しずつですが先生やクラスメイトが話していることが理解できるようになっていきました。毎日中国語を聞くことで自然と耳が中国語に慣れていきました。語学力の向上を実感するとともにそのことがまた学習意欲への励みになりました。クラスメイトがとても勉強熱心だったのでそれもいい刺激になりました。クラスには様々な国の留学生在がいてみんな個性があって陽気で面白い人たちばかりでした。みんなと一緒にそれぞれの国の料理を食べに行ったり、ボウリングにも行ったりして仲を深めることができました。その分みんなが徐々に帰国する時期が来たときは寂しさでいっぱいでしたが、次にみんなと会えた時のために中国語をもっと勉強しなければと思うようになりました。

衣食住についてですが北京での生活はとても便利に感じました。大学の敷地内に食堂、スーパー、果物屋などがあり安くて美味しいものもたくさんありました。特に私が中国で虜になった食べ物は冰糖葫芦というフルーツ飴のようなものです。果物の味がとてもしつかりしていて甘くて美味しかったです。果物も最初は少し抵抗がありましたが安くて美味しく、日本ではあまり売られていない果物もあったので食堂で晩御飯を食べた後によく買っていました。買い物場面でも使える中国語はどんどん増えていきました。

留学期間中には旅行にも行きました。内モンゴルの砂漠ではラクダに乗り砂漠ならではの遊びを満喫しました。修学旅行では江西省へ行き陶器に囲まれた生活を送り、中国の世界遺産である三清山で迷子になりかけたりと何度か苦労する場面がありましたが様々な国の留学生と交流できるいい機会になりました。そして北京とは違う地域の文化や伝統にも触れることができ、充実した旅行になりました。

留学をしたことによって語学力の向上だけでなく中国の文化や習慣についても学ぶことができました。私の周りには中国にいいイメージを抱いている人があまり多くはなかったので留学を通して私が感じた中国の良さを少しでも伝えられるようにしたいです。留学に行き、中国を実際に自分の目でみることで本当に良かったと思います。様々な国の

人たちとも交流することができ、異文化交流の楽しさを実感できました。今後は語学だけでなく中国という国についての知識や理解を深められるよう努めていきたいと思いをします。